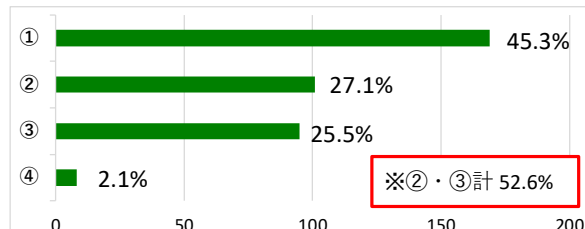


令和7年度 就職慣行等に関するアンケート調査（企業）

【調査概要】

- ◆対象企業 : 令和7年度に千葉県内ハローワークへ高卒求人を出した企業のうち850社を抽出
- ◆回答数 : 373社
- ◆調査方法 : WEBアンケート調査

| 1. 「一人一社制」についてどのように考えるか | |
|----------------------------|------|
| ① 現行の制度のままでよい | 169人 |
| ② 9月中から卒業まで2社応募できた方がよい | 101人 |
| ③ 9月中から卒業まで数の制限なく応募できた方がよい | 95人 |
| ④ その他 | 8人 |



| (1) 上記1において①と回答した者（現行制度支持） 回答理由について ※複数回答 | |
|--|------|
| ① 複数応募を可能とした場合、内定辞退が増え採用活動が長期化する恐れがあるため | 131人 |
| ② 応募書類や面接の準備など、生徒や教員の負担が増加し学業の妨げとなる恐れがあるため | 43人 |
| ③ 主に指定校求人による採用を行っており、自社のみ希望している生徒に応募してもらいたいため | 21人 |
| ④ 複数応募を可能とするよりも、職場見学や企業説明会等の機会を増加させた方がよいと考えるため | 62人 |
| ⑤ その他 | 2人 |
| 【⑤ 回答者・自由記載】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在でも職場見学到複数社応募可能なため、見学機会をぜひ多くし、受験させないと生徒も迷いが多くなり、受験に対する負担が多く悪影響である。 ・ 複数応募を可能とした場合、大手企業が有利になる恐れがあるため。 | |

| (2) 上記1において②または③と回答した者（複数応募支持） 回答理由について ※複数回答 | |
|--|------|
| ① 自社の求人へより多くの生徒に応募してもらいたいため | 99人 |
| ② 「一人一社制」により、生徒が企業や職業を知る機会が制限されていると考えるため | 122人 |
| ③ 複数応募を可能とした場合、生徒がより安心感をもって就職活動に望めるため | 104人 |
| ④ 複数応募を可能とすることで、早期離職の要因となるミスマッチの防止につながると考えるため | 80人 |
| ⑤ その他 | 8人 |
| 【⑤ 回答者・自由記載（一部掲載）】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 逆の立場に立った場合、様々な企業を見た上で入社を決めたい為。 ・ 今の制度だとどうしても大企業優先の応募となるため ・ 一人一社制だと1社目が不採用になった場合の第2希望だった企業への応募が締め切られたりして生徒のデメリットが大きい ・ 職業選択の自由実現のため ・ 大卒は制限なく応募が出来るのに高卒では制限がある理由が不明。高卒で1社しか応募、就職しない場合、他社の状況と比較できず自身の会社が正しいかどうかの判断を生涯できなくなる。 ・ 複数応募を可能とした場合、大手企業が有利になる恐れがあるため。 | |

| 2. 新規高等学校卒業者の就職活動に関するご意見やご要望 |
|---|
| 【自由記載（一部掲載）】 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生は学業優先という事情もあり、十分な情報を得ずに会社を選ぶ傾向。条件面だけで選ぶと偏りが生じる。先生の十分な関与が必要。現状では応募は一社か二社に限定した方がよいのでは。 ・ 一人一社制を柔軟運用に。最初は複数見学を義務化し、情報収集期間を設けて本命を絞る段階的な仕組みがよい。 ・ 大学生の就活が早まる中、高校生も早い段階で幅広く業種を知る機会が必要。高校生向けの企業説明会の開催・参加が有効。 ・ 一人一社制は時代錯誤。生徒が実際の雰囲気を感じず選ぶのは望ましくない。選択肢を狭めるのではなく、機会提供でミスマッチを防ぐべき。学校側の負担には理解しつつも、枠を狭める解決は違う。 ・ 中小零細を知ってもらい機会と、企業側を公的にサポートするサービスが欲しい。民間施策は高額で手が出ない。 |